

第二回

中西玄太原画展

（歴史復元画巨匠の描いた江戸時代）

江戸庶民の
クリエイティブな暮らし。

2023年

4月1日(土)～4月16日(日)

寒川町民センター

展示作品より

表紙使用作品

「風呂屋の洗い場と湯船」

風呂屋の洗い場と湯の仕組みが描かれている。湯に入るためには「ざくろ口」^{かが}を屈んで入る。これは湯温の低下を防ぐため、江戸時代のエコ対策ともいえる。炊き釜が屋内にあるのは火の粉の飛散を防ぐため、大火から学んだ江戸の町ならではの工夫である。



【江戸の店】 提灯や傘、油など生活にかかせない商店が軒を連ね、庶民の活気溢れる日常の一コマ。



【江戸時代の旅】 川の渡し近くに宿がある。江戸時代、大山街道や中原道で賑わった寒川を彷彿とさせる。

「中西立太」(1934～2009)の歴史復元画は綿密な時代考証に基づき、歴史上の出来事や人々の生活をリアルに描いた正確さから、歴史書・教材集・博物館など、書籍や展示物の説明に多く使われてきました。その中でも作品数が多い江戸時代には、建造物の構造を始め、庶民生活や職人の仕事ぶり、有名事件をモチーフとした多種多様な秀作が多く、今回はその中から選りすぐりの作品を皆様にご紹介いたします。立太の「歴史復元画」の価値と、その中に生きる人々の息遣いを感じていただける貴重な機会です。

第二回

中西立太 原画展

観覧
無料

～歴史復元画巨匠の描いた江戸時代～

会期 2023年4月1日(土)～4月16日(日)

開場時間 9:00～17:00

会場 寒川町民センター 展示スペース

主催 寒川町民センター
共催 一般社団法人 寒川町観光協会

